

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・文化芸術活動(鑑賞を含む)を行う市民の割合 ・文化的な環境への満足度 ・観光入込客数 ・障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	文化政策課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	新潟市美術展などの公募事業の応募者数 ・応募者数 ・講座・創作教室の受講者で、公募事業へ応募したいと思う人の割合	990人 (令和7年度844人) 57% (令和7年度56%)		新潟市美術展開催事業 にいがた市民文学発刊事業	美術を愛好する市民の創作作品を発表する場として「新潟市美術展」を開催します。また、文芸活動の振興を図り、創作意欲を高めるため、文芸作品を募集・審査し、「にいがた市民文学」を発刊します。さらに、創作活動のきっかけとなるよう、市民向け美術講座や市民文学創作教室を実施します。			
2	次代を担うこどもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。	政策2-2-①	オーケストラはキミのともだち ・参加者数 ・アウトリーチ実施回数	3,055人 (令和7年度3,051人) 45回 (令和7年度45回)		子どものための芸術文化体験事業	日頃、文化芸術に接する機会の少ないこどもたちに鑑賞・体験機会を提供するため、プロオーケストラによる演奏会を開催するほか、小学校などへのアウトリーチを実施します。			

3	みなとまち文化や踊り文化、マンガ・アニメ文化、鉄道文化などの人を引きつける特色のある文化をさらに磨き上げ、観光や産業、まちづくり分野などの振興に役立てます。	政策2-4-①	マンガ・アニメを活かしたまちづくり 「マンガ・アニメの会」における意見の実現数 「ガタマニア」の年間更新回数 ・「アニメのまちにいがた」PRステージ来場者数	1回 (令和7年度1回) 40回 (令和7年度40回) 2,500人		マンガ・アニメのまちづくり推進事業 「アニメのまちにいがた」PR事業	令和6年度に立ち上げた官民連携のプラットフォーム「マンガ・アニメの会」で出たアイデアを庁内担当部署と共有し、市全体がマンガ・アニメを活用したまちづくりに進むような流れを作ります。 また、同年度にリニューアルしたホームページ「ガタマニア」において、マンガ・アニメの多分野活用の事例やイベント・講座の開催情報などマンガ・アニメに関する取組を発信します。 さらに、ASPAC新潟大会の開催に合わせ、会場周辺などでアニメ音楽の演奏を行うほか、マンガ・アニメ情報館やマンガの家の取組を積極的に広報し回遊性を高めるなど、「アニメのまちにいがた」のPRを図り、国内外からの継続的な誘客につなげます。			
4	次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。	政策2-2-①	参加者の文化・歴史関連の活動回数が増加した人数の割合	65% (令和7年度63%)		子ども向け文化プログラム体験事業	本市の文化や歴史などへの子どもたちの興味・関心を醸成するため、小学5年生～6年生を対象に、文化・歴史に着目したツアー形式の体験プログラムを実施します。			
5	国際交流、福祉、教育などの分野と連携・協働し、相互理解や豊かな表現力が地域で育まれるよう、多様な価値観を包摂する文化芸術特性を幅広く活用していきます。	政策2-4-②	文化芸術による共生社会推進事業への障がい者施設等の参加件数	70件 (令和7年度92件)		文化芸術による共生社会推進事業	障がい者施設等と文化芸術団体の交流支援などを通じて、障がいのある人となない人との相互理解を深める環境づくりに取り組みます。			
6	全ての職員が、子育てや介護などのライフステージに合わせて柔軟に働き続けることができるよう、職場環境の整備やテレワークの導入などを進めます。	行財1-4-②	定時退庁推進日実施率	65% (令和7年度68%)		定時退庁推進日実施の推進	定時退庁推進日の実施により職員の健康管理に努めます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	新潟市美術館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標				主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	展覧会や関連事業の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	政策2-1-①	入館者数(人)	55,000		展覧会開催事業	企画展及びコレクション展を開催するとともに、関連する各種講座等を開催します。			
2	学校や地域等と連携し、子どもたちを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-①	教育普及事業の実施回数(回)	30		教育普及事業	アートリップや美術講座、ワークショップ、LoungeNきままプログラム等を開催します。			
3	広報活動を積極的に行い、美術館や展覧会等の認知度を高めます。	行財1-1-①	SNS(インスタグラム、フェイスブック、新潟市公式LINE)やYahooでの発信回数(回)	200		SNS等を活用し、美術館に関する情報を発信	企画展の内容や関連イベント等の情報を発信し、誘客に努めます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	新津美術館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	展覧会や関連事業の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	政策2-1-①	美術館入館者数(人)	75,000		企画展等の開催	企画展、その他の展覧会、ミュージアムコンサート等を開催します。		
2	学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-①	普及事業の実施回数(回数)	30		教育普及事業の実施	美術講座、出前美術館、博物館実習及び職場体験の受入等を行います。		
3	広報活動を積極的に行い、美術館や展覧会等の認知度を高めます。	行財1-1-①	ホームページ、SNS(フェイスブック、X、Instagram)の更新回数	200		SNS等を活用し、美術館に関する情報を発信	企画展の内容や、関連イベント等の情報を発信し、誘客に努めます。		

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・観光入込客数 ・文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財を着実に次代へ継承できるよう、関係者と連携・協議しながら計画的に保存に向けた整備や調査を行います。	政策2-3-①	・文化財保護調査件数	60件		・旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業 ・旧笹川家住宅保存整備事業 ・文化財保護調査事業	・文化財の調査等			
2	国民共有の財産である埋蔵文化財が適切に保護されるよう、各種開発事業に即した保護協議を行います。	政策2-3-①	・県営ほ場整備に伴う試掘・確認調査	県から要望の出ている県営ほ場整備予定地区のうち、4地区以上、または計170ha以上。		・試掘・確認調査(開発事業) ・試掘・確認調査(ほ場整備事業)	県他関係団体と調整し、県営ほ場整備事業予定地区を対象とした試掘確認調査を実施 国庫補助の範囲内で最大限要望に応えます。			
3	各施設における様々な展示等を通じて、本市の歴史や特色を広く発信し、交流人口の拡大を図ります。	政策2-4-①	・歴史博物館の入館者数(人)	100,000		・博物館管理運営事業 ・川湊や潟の歴史・文化の発信事業 ・旧小澤家住宅管理運営事業 ・新津鉄道資料館管理運営事業	・歴史博物館「新潟の街角」展、「地図資料からみる新潟り今昔」展、むかしのからし展、各種講座等 ・旧小澤家住宅「有願」展、「切子ガラスの世界」展、「海のゴミ」展、「新潟大火」写真展、各種講座等 ・新津鉄道資料館「北越急行ほくほく線～これまでの歩み～」展等			
			・旧小澤家住宅の入館者数(人)	18,000						
			・新津鉄道資料館の入館者数(人)	56,000						
4	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制運用上の不備報告件数(件)	0		公平・公正な入札事務等の実施	内部統制制度におけるリスク管理を基に、複数人による点検などの徹底等により、不備発生を防止します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域の文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に出向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるよう努めます。	政策2-3-①	・文化財センター入館者数(人)	6,500		・企画展(年2回)及び関連講演会の開催 ・各種講座の実施	・企画展及びそれに関連する講演会を開催します。 ・民俗講座などの各種講座等を実施します。			
			・遺跡発掘調査現地説明会参加者数(人)	100 渴端:100		・遺跡発掘調査現地説明会の開催	・当該年度における遺跡発掘調査の成果を示す現地説明会を開催します。			
			・遺跡発掘調査速報会参加者数(人)	140		・遺跡発掘調査速報会の開催	・当該年度における遺跡発掘調査の成果を報告する速報会を開催します。			
			・各種出前講座参加者数(人)	1,500		・出前講座の実施	・学校等からの依頼に応じた各種出前講座を実施します。			
2	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	政策2-3-①	・史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者数(人)	25,000		・企画展(年2回)及び関連講演会の開催	・企画展及びそれに関連する講演会を開催します。			
			・各種イベント等参加者数(人)	1,000		・各種イベント等の実施	・発掘体験など各種イベント等を実施します。			
3	本市の貴重な文化資産である史跡や遺跡を適切に保存・活用するため、発掘調査における正確な設計と公平・公正な入札を実施し、市民に信頼される市政の推進に努めます。	行財1-1-①	・内部統制運用上の不備報告件数(件)	0		・埋蔵文化財等本格発掘調査事業	・確認調査及び発掘調査において正確な設計と公平・公正な入札を実施します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・文化的な環境への満足度	作成日	R8.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課・文書館			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	行政文書の中から特定歴史公文書として移管・選別するための基準を定め、公文書に関わる全庁的なガイドラインを設定します。	行財1-2-①	公文書の移管選別基準を定めたガイドラインの策定	1		公文書のライフサイクルに係るガイドラインの策定	総務課と連携しながら、全庁的な調査・照会を実施し、所管課の意向を反映させたガイドラインを策定します。 文書事務に関わる全職員にとって、文書分類が分かりやすく、歴史公文書等の選別が容易となる指針の策定を目指します。			
2	文書館で保存する歴史公文書等を市民共有の知的資源として、適切に保存・利用提供します。	政策2-3-①	利用提供数(件)	250		適切な資料提供の実施	文書館の事業内容を周知し、特定歴史公文書を適切に市民の利用に供します。			
			個人宅等への資料調査の件数(件)	15		市民の要望による個人資料の調査 地域郷土史研究団体との共同調査	市民からの要望に応え、個人所有の歴史的文書を調査するとともに、地域郷土史研究団体と共同で中原家文書を調査します。			
3	本市の歴史や歴史に関する資料等に興味をもってもらえるよう、歴史講座の開催や文書館が所蔵する資料展示などにより情報を発信します。	政策5-2-②	講座の開催回数(回)	15		参加者にとって分かりやすく参加しやすい講座の計画・実施	これまでの講座実施計画やアンケートを活かし、参加者に分かりやすい講座に取組みます。また、派遣講座などでは、みなとびあ等と連携し講師の調整を行います。			
4	新規学芸員の育成プログラムの策定・実践を通して、特定歴史公文書の保存・提供や本市の歴史などついて、受講職員と講師役職員の双方の知見を高めます。	行財1-4-①	育成のための年間プログラムの策定と実践	1		新規学芸員の育成プログラムの策定と実践	新規学芸員の配置を見据え、行政実務や専門的知識の習得のための、年間を通した新人育成プログラムを策定し、実践します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・スポーツ環境への満足度	作成日	R8.4.23
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	スポーツ振興課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	市内のスポーツ施設利用者数(人)	3,180,000人		スポーツ施設管理運営委託費	指定管理者制度により所管するスポーツ施設の管理運営を行い、各区所管課、指定管理者や関係機関と情報交換・連携しながらスポーツ施設の利用促進を図ります。			
2	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	鳥屋野運動公園野球場供用開始	①詳細計画及びPPP調査 ②地質調査		鳥屋野運動公園野球場再整備事業	施設整備の詳細計画及びPPP調査、地質調査の実施など必要な工程を着実に進めます。			
3	新潟市の持つ魅力を活かしたイベントの開催により、スポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげるとともに、イベントにふるさと納税を導入することで、市の財政基盤の強化に繋がります。	政策3-3-① 行財2-1-①	①新潟シティマラソン参加者数(エントリー数) ②ふるさと納税による新潟シティマラソン(フルマラソン)エントリー数	① 12,400人 ② 100人		新潟シティマラソンの開催	フルマラソン、ファンラン、ユニバーサルランの3種目を実施し、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。 また、ふるさと納税の返礼品に「フルマラソン出走権」を設定し、エントリー数を確保するとともに市の財政基盤の強化に繋がります。			
4	将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成・強化や、指導者の育成・資質向上、障がい者の競技スポーツの普及促進を図ります。	政策3-2-①	障がい者スポーツ用具貸出件数	200件		障がい者スポーツ推進事業	障がい者スポーツの普及促進及び競技人口の拡大を図るとともに、競技力の向上に繋げるため、用具貸出事業を実施します。			
5	アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編を進めるとともに、この白山エリアが多様な都市機能が集積する「にいがた2km」と連動することで、交流人口の拡大と地域活性化につなげ、若者に選ばれるまちづくりを進めます。	政策14-3-①	白山エリアのスポーツ施設再編	①基本構想策定に向けた民間事業者意向調査 ②測量業務により再編対象区域の境界設定		アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編事業	まちの活力と賑わいのさらなる創出を図り、県都・政令市新潟の拠点性向上や交流人口の拡大につなげるため、アリーナの実現を核とした白山エリアのスポーツ施設再編について、本格的な検討を進めます。			